

# 小鹿野町政策審議会 会議録

| 発言者  | 会議の概要   |
|------|---|
| 総務課長 | <p><b>1 開会</b></p> <p>それでは、第9回小鹿野町政策審議会を開催させていただきます。</p> <p>4月の人事異動に伴い、総務課長が新井、事務局担当が田嶋となりましたのでよろしくお願いたします。</p> <p>本日の会議は、黒澤委員より欠席の連絡がありました。</p> <p>なお、本日の傍聴希望者は3名です。</p> <p>はじめに小松会長よりあいさつを申し上げます。</p>   |
| 小松会長 | <p><b>2 あいさつ</b></p> <p>(会長あいさつ)</p>  |
| 総務課長 | <p>続きまして、小鹿野町長 森真太郎よりあいさつを申し上げます。</p>   |
| 町長   | <p>4月の人事異動とともに組織機構の一部改正を行いました。その目玉となるのが、総務課内に町長直轄のまちづくり推進室を設置し、町の政策的課題を中心に取り組んでもらうというものです。その一つが一次答申にもありました地域商社化の調査研究事業を今年度進めます。もう一つがクライミングによる町おこし事業です。神怡館を利活用して、情報センターやスポーツクライミングの施設等に改修する事業です。3つ目が空き公共施設の利活用に取り組んでもらいます。町長直轄部署ということでスピード感を持って進められると思います。また、一つ報告したいのですが、平成30年度に小鹿野町で生まれて町に残っている子が34人、平成31年度に小学校に入学する児童が65人、中学校に入学する生徒は96人ということで年々子供が減っているという厳しい現実があります。移住・定住をいかに進められるかがポイントだと思っています。答申をいただく中で、そういった課題についても進めていきたい。今後ともご指導賜りたいと思います。</p> |
| 総務課長 | <p>次に議題に入りたいと思います。</p> <p>議長につきましては、小鹿野町政策審議会条例第6条の規定により、小松会長へお願いたします。</p> <p>小松会長よろしくお願いたします。</p>  |
| 小松会長 | <p><b>3 議事</b></p> <p>それでは議長ということで議事を進行させていただきます。</p>   |
| 小松会長 | <p><b>(1) 会議録署名委員の指名について</b></p> <p>議題(1)会議録署名委員の指名についてですが、こちらにつきましては須崎委員、萩原委員を指名します。</p> <p>(はいの声あり)</p> <p>よろしくお願いたします。</p>   |
| 小松会長 | <p><b>(2) 第8回会議録について</b></p> <p>次に、第8回会議録についてですが、開催通知と一緒に第8回会議録を送付しましたが、記載内容、誤字等がございましたら、ご指摘をお願いします。</p> <p>(意見なし)</p>  |

## 小鹿野町政策審議会 会議録

|      |  |
|------|--|
|      | これで第8回会議録を確定します。   |
| 小松会長 | <p><b>(3)株式会社設立に関する課題と推進方法について</b></p> <p>次に、議題(3)株式会社設立に関する課題と推進方法についてということで、意見交換を行いたいと思います。</p> <p>その前に、2月28日に川場村へ視察に行きましたのでその報告を前総務課長の高橋さんをお願いします。</p>  |
| 高橋俊行 | <p>去る2月28日に委員5名町執行部7名の12名で川場村へ視察に伺いました。川場村は農業プラス観光、世田谷区との都市交流事業、道の駅川場田園プラザ事業、木材コンビナートの4点により村づくりを進めています。ホテル SL 事業を昭和52年に始め、男性職員は大型免許を取り送迎を行い、女性職員は週2日ホテル勤務を行いました。その後、テニスコート、キャンプ場、スポーツ広場、スキー場、天然芝のサッカー場などの整備をしてきました。世田谷区との交流事業は昭和56年に縁組協定を結んだことから始まり、昭和61年には区民指定の藤山ビレッジを整備し、運営やコーディネートを実施する(株)世田谷川場ふるさと公社を設立し、現在の社長は宮林先生です。また世田谷区立の5年生約6000人が毎年二泊三日の農作業の村巡り体験を実施し、区民が必ず一度は川場村を訪れるとのこと。田園プラザ事業では平成4年から整備し10年にオープンしました。運営は(株)田園プラザ川場が村から指定管理を受けて実施し、平成28年度の売り上げは13億5000万円、平成27年度の来場者数は180万人とのこと。資本金は9000万円で、JAから1000万円、世田谷区から1400万円、そのほか群馬銀行や村民組織の組合から出資しています。レストランの運営が大変で年間3000から4000万円の赤字があり、倒産の危機だったそうです。地元の酒造会社の社長が再建を図り、現在では農産物の売り上げは一人100万円、登録は100人程度います。施設整備はこれまで約30億、1/3を国費、3/2を起債で村が整備したとのこと。年間4000から5000万円程度の使用料が村に入っています。木材コンビナート事業は村の83%を占める木材の活用を目的とし、チップを使ってバイオマス発電し、余熱でいちごのハウス栽培を行っています。発電した電力は世田谷区民に供給をしています。また世田谷の小学生に机の天板も贈っています。視察を受けて、答申にも入っている総合商社化のモデルとして小鹿野町でも活用した事業ができれば良いと感じた次第です。</p> |
| 小松会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>せっかくですので参加された方から一言ずつ感想をお願いします。</p>  |
| 吉田委員 | <p>川場村のロケーションは小鹿野で言えば倉尾の入り口や三田川筋くらの感じを受けました。成功の要因は川場村が一丸となり、官民一体で進めていることが大きいと思いました。小鹿野町でも同じようなことを進めつつあるところですが、町が一つになって進めていくということがポイントになると思います。当時の川場村の時代よりも情報の発信やPRは格段にやりやすくなっています。そういうことを踏まえて小鹿野町として進めていく、全く新しいやり方を考えていかなければならないと感じました。</p>  |
| 山口委員 | <p>5年も赤字だったのによく続けたと思う。小鹿野だったら議会在がやめろと言う。そのくら</p>   |

## 小鹿野町政策審議会 会議録

|             |   |
|-------------|---|
|             | いでないと上手くいかないと思いました。株式会社と村は全くの一心同体だと感じました。小鹿野町も小鹿野方式を考える必要があると思いました。   |
| 須崎委員        | 農業プラス観光を 6 代続けていることが本当にすごいと思いました。選挙で 5 票差なんてこともありながらも考え方が一貫していることが成功の要因だと思います。SL ホテル事業を昭和 52 年に始め、両神村と似ているとも思いました。  |
| 小松会長        | <p>2 月の衆議院の予算委員会で岸田政調会長が質問し、安倍総理が答えていましたが、3000 人の人口が 300 万人の観光客を呼んでいると。さきほどの高橋さんの報告とずれがありますが、スキー場などを入れると 300 万人ということだと思います。これは一流だということだと思います。今度の株式会社を作るにあたって、一流を狙わないとリピート客は来ない。食事をホテルの食堂で食べましたが、東京のホテルで食べているのと同じです。調度品から料理、接待など、目の付け所が良いのは世田谷区と交流したということで、世田谷は感性の高いところだったろうと思います。その中に先生お勤めの東京農業大学があり、そこが一流に育ててきたのだと思います。我々がやろうとしていることも人口 10000 人いるわけですから川場村で考えれば 1000 万人集まるということになるわけです。3000 人は両神に気を持ったくらい。いずれにしてもすごいことです。ぜひ希望を持って、我々も先生がいるわけですから我々も役場の職員も川場村に追いつけ追い越せで、一步動き出して、何かを作り出していくことに努めていただきたいと思います。</p> <p>川場村の件で何か質問はありますか。</p> <p>ないようでしたら、町の予算と総合振興計画の説明をしていただき、その後に株式会社設立についての課題と推進方法についての意見をいただきたいと思います。</p> <p>ではまず町の予算の説明をお願いします。</p> |
| 総合政策課長      | (町の予算について資料に基づき説明)  |
| 総合政策課<br>担当 | (第二次小鹿野町総合振興計画の基本目標毎の分野分けをした事務事業について資料に基づき説明)   |
| 小松会長        | <p>ありがとうございました。何か質問がありましたらお願いします。</p> <p>危険ブロック撤去事業の予算額が 100 万円とありますが、何件あるのですか。</p>   |
| 総務課長        | 箇所数については把握していませんが、大阪北部地震でブロックが倒壊し尊い命が奪われました。それを踏まえまして、道路に面している危険なブロックについて所有者の方が撤去する場合に 10 万円の補助をいたします。撤去し、新たに安全な塀を設置する場合にも 10 万円の補助をいたします。  |
| 小松会長        | 100 万円は私の感覚では非常に少ない。北裏通り、南裏通りに多くの塀があるが全部安全なのか。測定や診断は受けていますか。  |
| 総務課長        | ひびが入っている塀や建築基準法に違反している塀の場合補助するものです。   |
| 小松会長        | 人口減によって減る予算と逆に教育費の無料化などで増える予算があると思いますがどのような感じですか。   |
| 総合政策課<br>担当 | 人口が減りますと高齢者に係る扶助費や子供に係る経費など減る部分があります。増える部分につきましては、目標にもあるように人口減少に負けない小さくても輝き続け   |

## 小鹿野町政策審議会 会議録

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>まちということで、人口を増やそうとする新しい取組み等に係る費用は増えていきます。ただ、その部分の減少分と増加分については精査していません。</p>   |
| 小松会長       | <p>精査してみると良いと思います。人口減に対して皆さん、私もそうですが危機感を持っています。学校の生徒が減れば教育費は減ります。増える部分と減る部分は大きく拵んでおかないと。経営の基本だと思います。</p> <p>その他ありますか。</p> <p>無ければ株式会社設立に関する予算の説明をお願いします。</p>   |
| まちづくり推進室浅見 | <p>株式会社設立に関する調査の業務委託として 300 万円計上しました。事業は大きく2つありまして、小鹿野町振興公社の体制をどう見直していくか、多くの観光施設の運営に関わっていますのでそこをどう見直すかがまず1点。2点目として、株式会社設立は地域経済再生のためと認識しています。地域産品や自然食、町にある資源を生かしながら町そのものを町内外、国内外に情報発信していく必要があると考えており、取り組みのコンセプトは地域を巻き込んだ株式会社化が必要だと考えます。設立に関して国の助成制度を積極的に活用し、DMO と地域商社の両方の機能を持つ会社が望ましいのではないかと思います。現在の振興公社は県からその独立性に関して指導を受けており、出資金を増やすこと、町があまり運営に関わらず独自の運営をしていくことが求められています。それともう1点、現在の従業員の雇用をどう継続するか検討し、軟着陸させる必要があります。今年度の事業としては上半期でこのような課題としてあることを洗い出し、下半期で具体的な調整をしていくという流れになると思います。業務委託の内容としては振興公社、観光施設、地域資源の現状分析を実施し、設立する株式会社の設立方法、手順、設立運営に関する町の関与の程度なども調査する必要があります。また、会社の経営予測をする必要もあります。国の財政支援も調査しながら進めていきたいと考えています。</p> |
| 小松会長       | <p>話が前後して申し訳ないですが、小鹿野町総合振興計画も絡んでくると思いますのでその計画の説明をお願いします。</p>   |
| 総合政策課長     | <p>(第二次小鹿野町総合振興計画について資料に基づき説明)</p>   |
| 総合政策課担当    | <p>(第二次小鹿野町総合振興計画の前期基本計画について資料に基づき説明)</p>  |
| 小松会長       | <p>ありがとうございました。</p> <p>総合振興計画について質問や意見がありますか。</p>  |
| 萩原委員       | <p>クライミング事業についてですが、総合振興計画に記載がないことについてと施設の神怡館は埼玉県の施設だと思いますが、これは借りるのですか。また、その中には相当良いものも入っていると思いますが、それはどうするのですか。</p>  |
| 副町長        | <p>クライミングによる町おこし事業については新規事業として立ち上げたところです。神怡館は埼玉県の施設であり、その有効活用について県も町も検討を行い、民間にも働きかけてきましたが良い案が無く昨年 3 月に閉館となりました。そこで従前から二子山でクライミングを行っていた日本山岳スポーツ協会の平山ユージさんが、飯能・入間・小竹向原にボルダリング施設を持っていますが、同じような施設を作りたいということで</p>   |

## 小鹿野町政策審議会 会議録

|      |  |
|------|--|
|      | <p>今回の話が出てきました。これをきっかけに埼玉県とのいろいろな話し合いの中で、施設については無償譲渡、土地については無償貸付けを受けて町が整備し、町が運営することを決定したところです。埼玉県とは覚書を締結しまして、施設整備に県の支援をいただいて整備するものです。また、中の展示物については、埼玉県が購入した展示品、旧両神村が購入したものや山西省との交流でいただいたもの等があります。覚書の中で建物の外の展示品は町に譲渡、中の展示品は県の各施設に展示したり、最終的には処分するものも含めて 7 月までに県が処分する予定です。旧両神村の所有物は旧両神中に移転し展示する予定で移転の予算も組み込んでいます。本物や模造品等もあるため、今後町民の方にどれを見ていただくかは検討します。</p>  |
| 宮林委員 | <p>東京オリンピックでスポーツクライミングが良い成績を残す期待があり、オリンピック以降化ける可能性がある。ただし、施設を整備するにあたりどれだけの費用対効果があり、どういう波及効果があるか、それがポイントです。農業にどれだけの影響があつて、町にどれだけのお金が落ちるかを検討されないと計画にならないと思います。県からお金をもらってやればいいだと、それで終わってしまう。世界トップクラスのものを作るにはどうしたらよいか専門家の話を聞き、良いものを作れば間違いなく人は入ってくるはずですが、そこを検討することが大事です。総合振興計画も全部書いてあつて良いのですが、例えばものづくりという点でどう繋いだらこの 10 年で何ができ、どのような費用対効果が予測できるか、というところまで検討しないと総論的になり予算を撒いていくだけになってしまう。自立して住みやすい町にしていくためには、かなり強烈に力を入れるところには入れていかないと前と同じになってしまう。クライミングをちゃんとした施設にすることで他の施設も影響を受けます。あそこのプロの施設のように私たちが頑張ろうと良いものを作り始める。農業も良いものを作って人が集まるとなれば農業もレベルアップしていく。そうすると町が全体的に上がって、人から信用され、人がたくさん入ってきて WinWin の関係が生まれてきて自立できるのではないかと思います。これがこれからの地域づくりの基本的な姿勢ではないかと思います。そういう意味では、施設は最上級のものを作ったほうが、金はかかるとは思いますが、良いと思います。</p> |
| 小松会長 | <p>経営はどこが主体となつてどこが運営するのですか。</p>  |
| 副町長  | <p>施設整備・運営については町が責任を持つて行う形になります。1 年間で神怡館の施設整備を行い、その前にある鳳鳴館の利活用も検討いたします。運営には地域おこし協力隊や地域おこし企業人、ボルダリング施設に詳しい、興味のある方を募集する。また、平山さんからもアドバイスをいただき施設整備をし、1 年間かけて人材を育成する。運営については3人程度で小鹿野町振興公社を中心に考え、将来的に株式会社が出来たらそちらが担うのが良いと考えています。</p>   |
| 小松会長 | <p>今時点でペイするのか。</p>   |
| 副町長  | <p>今、神怡館の鳳鳴館を含めた基本構想を作つており既に決裁となつております。その中で年間 2000 万円の収支ということでペイすることになっております。</p>  |
| 小松会長 | <p>なぜそんなことを言うかという、町の予算のすべてが必要経費で、唯一このクライミングによる町おこし事業が投資です。投資ということはどう回収するかが大事。経営を勉</p>  |

## 小鹿野町政策審議会 会議録

|      |   |
|------|---|
|      | 強しないと。  |
| 町長   | 単体ではなかなかペイすることは難しいと思っています。両神地区の国民宿舎、薬師の湯、直売所等トータルで考える必要があり、そのために株式会社リーダーとなって進めていく必要があると思います。ボルダリングは専門的な知見が無いとできないため、平山さんという世界的なクライマーで日本山岳スポーツクライミング協会の副会長も務めて東京オリンピックのいろいろな責任者もやっている方なので、そうした方の人脈や知恵、知識等を活用して誘客も図っていく。単なるクライミングジムだけだと厳しいとは私も平山さんも心配しています。いろいろな施設との関連付け、魅力付けということでやっていく必要があると思っています。 |
| 小松会長 | 私が言っていることはそうじゃない。クライミング事業を新しくやるということになったら、国民宿舎の売り上げがどのくらい上がるのか、だからここは赤字でも良いとか全体の話をしている。   |
| 町長   | そこがまだ積み上げ出来ていないので積み上げていきたいと思っています。  |
| 小松会長 | 職員は何をやっている。1億4000万円も使うのに。どこで儲かるからやろうよになるのではないか。ここが赤字でも全体として町に入ってくれば良い。議会もよく認めるね。経営の基本です。例えば武道場にクーラーを入れるとあったが、何人利用しているのですか。ペイしないのではないか。  |
| 町長   | 社会教育施設なのでペイという概念は無いと思う。   |
| 小松会長 | そんなことはない。運動すれば健康保険を使うことが少なくなるとか。働き甲斐が上がって生産性がこれだけ上がるとか。そういう効果があるから投資をしたのでは。   |
| 町長   | それはそうですが、それが経済的な指標で行くとペイしないと思います。   |
| 小松会長 | そんなことはない。町にあるものはみんなペイしなければいけない。何かに効果がある。  |
| 町長   | 経済指標でペイするのは難しい。   |
| 萩原委員 | さいたまスーパーアリーナは埼玉県の施設で、あれは絶対ペイしない。土地代と建物代を考えると無理です。ただあれがあるために埼玉県の地位が上がって、周辺の賑わい、オリンピックの会場になるとか、地域全体で見るとおそらくペイします。第三セクターのさいたまアリーナ社が赤字は出さないように運営しています。ですからある程度の投資をして、キャッシュがまわり、周りが良かったとなれば一時的に大きな投資があってもある程度仕方ないと思います。  |
| 宮林委員 | 今まではその投資が投資を呼んでまわらなくなり、空いている施設がたくさんあります。クライミングは必ず化けると思う。日本をあちこち見てもろくな施設は無い。だとすればこの東京オリンピックを契機に、プレーする人口が増え、そうすると一番良い施設に行きたくなります。ここに良い施設があるとなれば必ず人は来ます。ましてや平山さんが音頭を取っているとすれば鬼に金棒、金になります。木材を使って世界にここにしかないものを作れば人は入ってくる。  |
| 山口委員 | 小鹿野町の場合、建物の規格があつてのボルダリングだから難しい。最高のものをと  |

## 小鹿野町政策審議会 会議録

|      |  |
|------|--|
|      | 15m、20m のものを作ろうとしても入らない。物理的に最高の施設は無理。だとすると施設の中に最高のものを作って、さらに近くで本格的なクライミングができるということ発信していくのが良いのではないか。本物があって他と違うということです。  |
| 宮林委員 | 趣味のものをやるのか、プロのものをやるのかで全然考え方は変わってくる。プロのものができないのであれば、それなりのことを考える必要がある。   |
| 町長   | 町が踏み切ったのは、クライミングメッカの二子山があるからで自然とのリンクが可能だからということが一番の理由です。あの周辺はいろんな施設があり、観光ゾーンとしての魅力アップが図れると思います。確かに小松会長が言うように細かい積み上げをして、民間への波及効果なども積み上げられれば良いと思います。   |
| 小松会長 | 分析できないなら自分たちで積み上げれば良い。だから町長や副町長の説明は文学的になってしまう。投資だから経済的な説明を。旅館にどれだけ泊まるかなど積み上げられるはず。なぜ公共が投資するかという効果が長いから。短いなら民間が投資します。役場の仕事はマクロが重要。今度の株式会社はそれを徹底。川場村でもリスクのあるところは役場が持っている。社員は役場の職員より給料が良い。それはインセンティブを与えているから。今年度の予算で良いのはクライミングしかない。投資はこれだけだから投資は皆が勉強すべきです。新しいものをつくるのは良いことです。  |
| 町長   | 積み上げをしっかりと作ります。  |
| 小松会長 | 波及効果結構あると思います。それがきっかけになって株式会社にも人が来るとか、一つの導火線になると思います。  |
| 宮林委員 | 世界大会を持ってこれる施設にはならないか。  |
| 山口委員 | 絶対にならない。規模が小さいから。潰して新しく建てれば良い。   |
| 宮林委員 | 本物のクライミングをやるところはある。あるならそこへつなげば良い。  |
| 小松会長 | 山村広場を埋めてあそこに作れば良い。   |
| 宮林委員 | 世界大会が2回来ればペイします。   |
| 小松会長 | その他ありますか。  |
| 今井委員 | 総合振興計画は今後 10 年の計画ということですが、1 点お願いです。我々経営者が今考えているのは外国人労働者の受け入れです。小鹿野町は外国人を歓迎しますということを入れてもらいたい。夫婦で入ってくる人も多いのでそういったところにも目を配らないとなかなか人口は増えていかない。もう 1 点細かいことで申し訳ないが、今年も尾ノ内氷柱で観光客がたくさん来ました。ある飲食店の人に言われたのですが、バスで来た人の弁当の注文を受けられないのかと聞かれました。町や商工会に電話で氷柱の問い合わせがあったときに、同様なマニュアルを持っておき、弁当を売り込む姿勢も大事ではないかと思います。例えば、わらじカツ丼が有名なので、その注文をとり、1割バックさせてその金額を氷柱の運営にまわす等の仕組み作りが必要ではないかと思います。 |
| 山口委員 | クラブツーリズムのツアーでたくさん来ています。それはバスの中で弁当を食べます。  |
| 副町長  | 既にそれをやっている事例ですが、近畿日本ツーリストに企画していただき、小鹿野   |

## 小鹿野町政策審議会 会議録

|      |   |
|------|---|
|      | <p>春祭りツアーを今月行います。実際に歌舞伎を見学して、わらじカツ丼弁当を食べます。また、教育委員会が窓口になり、空き公共施設の三田川中学校を使った撮影などに多くの方が来ており年間 200 万の使用料を得ています。撮影には一度に 100 人、50 人等訪れ、宿泊や弁当まで手配しているという事例が既にありますので、受けることは可能だと思います。</p>   |
| 今井委員 | <p>個人商店の人が多く、売り込みができない人も多いのでよろしくお願いします。</p>   |
| 町長   | <p>私が思ったのは逆で、商工会もあるのになぜ自分の店の PR をしないのかなと思う。</p>   |
| 今井委員 | <p>一つには甘えもあると思う。個人でやっているのでも店を空けられないというのもあると思う。</p>  |
| 小松会長 | <p>甘えているのではなく、商店の人たちは完全な病人です。病人だから公共で守ってあげなければ。早い話がシルクロード商店街。全部の店が入ってない。これは病気です。入って利益を生めないから入らないという理屈です。入って一緒にやろうという元気が無い。</p> <p>それではまた、株式会社設立の件に戻って、どういう会社にしていったら良いかを皆さんから意見を、まずは宮林先生に経験も踏まえて改めてお願いしたい。</p>   |
| 宮林委員 | <p>全国いろんなところで DMO、商社化ということをやっていますが、基本的に観光協会や商工会が組織になっていない。集まりも年に一回とかで、本来、商工会は町の商工を売り出したり、中身をつなげたりが最も大事なことで、観光協会もいかに自分たちのよさを売ってたくさんの人を呼び込むか、自ら金を出して観光のために振興するかが協会の役割にも関わらず、やっていない。全部行政におんぶにだっこです。株式会社はそういう方に、起きてもらう、あなた方もやらないとダメですよ、ということを実感してもらおう会社が音頭取りになるのが大事です。そういったプラットフォーム型の議論をしながら、しばらくは町の観光、人づくり等を引っ張っていく役割が必要です。それはソフト面でハード面は第 3 センターでやっているのが一つになりますので、間違いなくやり方によってはペイしてくると思います。その仕方はこれまでの経営の仕方ではおそらくだめだと思います。従業員の考え方をそっくり変えないと、客商売ですから皆さんが遊びにくる時は自分は忙しいんだということと、何をどう見せて、どうい食わせ方をして、満足度をどこに置かかというところを明確にしていかなないとなかなか人は入ってこない。川場村は都市の空間を田園プラザに作るけど、世田谷区が来るので最高級のもを置こうと。コックさんは県で3番目くらいの人で、ピザもイタリアに修行に行き、ピザ窯も向こうから来てもらって作っている。使うものは川場の生産物ですが、そこまではすべて最上級のもをやろうと投資しています。そば打ちは県で 2 位になった職人を無理やり引っ張ってきて、メニューを作っています。一泊 7000 円、そばの懐石だけでも 4500 円ですが、人はどんどん入っています。投資に対するペイを意識して、そしてまわしていくことが大事です。民間の経営感覚でいかなないとなかなか回っていかないとこがあります。古いパンフレットを貼っておいただけではダメです。これを全部変えたのが今の社長で、物の置くところから全部変え、見栄えをよくして買いやすくして、買うものを最上級にしたというところにポイントがあります。経営ノウハウを作り上げ、それが小</p> |



## 小鹿野町政策審議会 会議録

|      |  |
|------|--|
|      | 鹿野の特産になっていくような、そういう位置づけになる会社が良いのではないかと思います。  |
| 小松会長 | ありがとうございました。では、宮本委員お願いします。   |
| 宮本委員 | 一つ報告ですが、1月に農林水産省から連絡があり、全国6地域で新旅スタイル農泊体験というのに選ばれて、1月に撮影、2月に農水省のHPにアップされました。農泊に農水省でも力を入れているので国民宿舎や株式会社に泊まってもらって農業体験をしてもらう。先ほどPR下手の話がありましたが、商店はPRが下手だと思います。今、SNSの時代なので、自分のページを町長も持っていますが、公開ページというのがあって、それでフォロアーを集めてどんどんPRをアップする。うちにはWEB担当職員が一人います。小鹿野町の今の良いところをどんどん上げています。宮本の湯と宮本家とふるさと村とそれぞれページがあって、それを一人で更新しています。それくらいやらないと情報の発信ができません。そういう部署もあっても良いのではと思います。ネット社会なのでキャンセルが出たらすぐ部屋を出したり、あとプランが大事なので、桜の時期なら桜とコラボしたり企画するところが専門に必要だと思います。私もいろいろなところに勉強に行っていますが、小鹿野町に年間43万人の観光客、秩父地域に1000万人、インバウンドで15万人の外国人が来ていますがそのうち泊まる方は5000人です。日帰りが多い。特に外国人はあまり現金を持ち歩かないため、ポイントの還元、キャッシュレスを推進していかないとです。みんなスマホ決済で、ペイペイとかラインペイとか、商店にも入れてもらわないと小鹿野に来ても素通りで帰ってしまいます。となると、町で助けてあげないと、設置を推進して協力してあげないとだと思います。消費税も10月に上がり、日本人もどんどんキャッシュレスになります。キャッシュレスの推進について町がどう考えているかを聞きたいです。 |
| 町長   | それは指示を出しましたが、商工会でやるからということです。  |
| 今井委員 | やりますよ。   |
| 宮本委員 | 秩父市内で実験で400店舗でやっています。おそらくお金はかかっていません。店にとっては還元になり貯められます。手数料が手数料がと言いますが、消費税はお店に貯まるので全然マイナスではない。  |
| 小松会長 | 民泊かなりの人です。布団置いておいて、台所開放して一人もかかってない。蔵を直すそうです。蔵にも泊めるらしい。   |
| 山口委員 | インターネットで悪く書かれるとパタッと止まる。怖い世界ですよ。  |
| 坂本委員 | キャッシュレスの話ですが、今、埼玉県で推進しており、秩父市で430店舗くらい加盟して進めています。2月から8月の6か月間が試行期間で実証実験の最中です。4月に当センターと県庁で店舗にアンケート調査をしまして、お客さんの反応、店側の反応等をとって最終報告をする予定です。上手くいけば双方にWinWinとなるシステムのはずです。利用者は現金を持たずに済む、特にインバウンド対策としては非常に有効、店側とすれば衛生面や日々の決算が必要なくなる。県としては推奨していきたいと考えています。上手くいけばこれを全県的に進めていきたい。<br>本題の株式会社化の件に戻りますが、私も宮林先生が仰っている経営感覚がポイント  |

## 小鹿野町政策審議会 会議録

|          |   |
|----------|---|
|          | <p>になると思います。私も行政の人間ですが、行政の人間が商売をやろうとしても上手くいくはずがありません。そういった教育も受けていません。行政だと鉛筆一本買うにも契約行為などがついて回り小回りが利かないので、株式会社化、法人化でそういったことはクリアされるのだと思います。小鹿野で上手く事業化出来て、利益を生むということが構築できるのであれば、それが一つのモデルとなり、また県内に大きく波及していく、そんな理想的な発信を是非小鹿野町からしていただきたいと思います。</p>  |
| 萩原委員     | <p>株式会社化の件ですが、スタート時点ではある程度儲かる事業を集めて、ある程度余裕を見てスタートさせて、あまり大儲けだとまた困るので、そのあたりは丁寧に事業内容を見直すような形にして走らせるのが良いかと思います。ただ責任、赤字黒字のところは明確にしておくのが一つです。ボルダリングの件、前のカーリングみたいな話になるのかなど。ボルダリングでアイドル的な選手が出たときに、行ってできる場所があれば人は集まります。カーリングは北見市がずっと前からやっていますので、やはり準備をしっかりと、それなりの本物の物があれば良いと思いますのでやってみていただければ良いと思います。</p>  |
| 須崎委員     | <p>世田谷区と川場村、こちらは港区と小鹿野町になると思いますが、一流の物を作っていくべきだと思っています。宿のプランと連携して、宿泊してボルダリングをする人は町に報告して、費用対効果を測れるよう協力しますので、そういった連携をすると良いと思います。ペイペイは町の商店にも増えてきました。クレジットカードは手数料 3.5%とか取られるので商店には障壁になるかと思いました。</p>  |
| 山口委員     | <p>間違いにならないとだめです。人材が一番大切だと思いました。ボルダリングは小鹿野だからこそを生きれば化けることもあると思います。大化けすることもありますので期待しています。</p>  |
| 塩田オブザーバー | <p>川場村に4つのキーワードがあったように、目的を明確にすることが大事です。どういったところをマーケティングするかも考えないといけない。今年度 300 万円の予算をつけて調査するという事なので、現状の公社の事業の見直しもされると思いますが、それをしっかり見極めた上でどういった形に持っていくかは、この一年非常に大事だと思いますので、それをまたこの会議で報告いただき協議したい。</p>   |
| 今井委員     | <p>会長と町長のやりとりを見て思いますが、行政に携わる人と経営者は全くの別者だと思っています。簡単に言えば、行政は国からお金を与えられてそれを分配することを計画する人たちであって、ほんとの真の経営者はいかにお金をかけずにお金を増やすか、簡単に言えば資本主義の原点である少ない投資で莫大な利益を根幹において考えなければならぬと思います。ですから会長と町長の会話が成り立っていないのはそういうことがあると私はつくづく思いました。ただ、行政は町民のためのサービス機関だと思う。ですからボルダリング施設を作って始めるという種まきをするということは行政はやらなくてはいけないと思う。たまたまそれが平山さんが小鹿野でやりたいというのは、ほんとに恵みの種であって、それを撒くことによって、飲食店で食事をし、旅館に宿泊してもらい、それを今度は個々の経営者がそれに対しての努力をすべきだし、ただ、現在はそういう種を撒いてもらわないと皆さん行き詰っている状態です。ですからどこどこはバ</p> |

## 小鹿野町政策審議会 会議録

|             |  |
|-------------|--|
|             | <p>イクで、カツ井で良いよなって、逆に言うと羨ましいという面もあるのですが、なかなか自分のところではできない歯がゆさもある。そういうことを行政が平等に種まきをしてあげることは必要だと思います。会長が利益が出なきゃダメじゃないかと仰いますが、会社はそのとおりです。小鹿野町のためにはそういうことは必要だと思います。</p>  |
| <p>小松会長</p> | <p>私は2つ経験している。一つは病院改革を頼まれて、いろんな病院を見て、最終的に小鹿野町の病院の赤字が億の単位である。経営をどうするかというところで、自治医大に行くのと受け入れてもらえず、上尾中央病院に行くと、その時に石和中央病院は笛吹中央病院に変わって完全に民営化されました。黒字になっています。その要因が透析と救急です。全地域どこからでも救急は引き受けますと。民間だからできました。民間になった時の小鹿野と笛吹の違いは何だったかと言うと、時の町長が職員を民間にすることに抵抗を感じてしまった。反対があると。当然です。職員や先生は生活の安定を目的にしている。病院の職員も安定で反対される、と想像してしまった。弱気になってしまった。</p> <p>それともう一つ。川場村で先日見学して、これだと思ったのは JA に投資を求めなかった。農協には入ってもらわない。なぜ入ってもらわないか聞いたところ、農協は地域の為ではない、自分たちのためだと。だから入れると上手くいきませんよと。</p> <p>ですからここは株式会社小鹿野町でないといけないんです。小鹿野町ホールディングスになってもらわないと。皆さんで議論したことをスピーディにやっっていけば上手くいくと思います。人は動けば大丈夫です。本田総一郎さんは「やってみなはれ。」です。本田さんの経営理念のトップはやってみなはれです。失敗したら俺が責任取る。それを反省にして別のものをやれば良い。だから良いか悪いかわかりませんが、やってみなはれです。失敗したら変えれば良いんです。河原沢の氷柱をやっている人はみんな70歳以上です。あと5年持たない。すごい労力です。夜中に水を撒き、氷を作るのは。地域のボランティアでやっているけれども。(若い人もやっています。の声あり)</p> <p>継続させるためには株式会社も力を発揮できると思います。大変、町としては厳しい時代ですが、大変な時は新しい道も開けます。今度改元もされたからみんなでやりましょう。</p> <p>では時間になりました。次回は6月議会が終わった後に開きたいと思います。町長の日程を確認しますが、次回は6月27日とします。</p> |
| <p>総務課長</p> | <p>会長大変ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。</p> <p>大変ありがとうございました。</p>   |